

## 自由民主党総裁選挙を前にして

- 世界や日本、地域、一人ひとりの国民の将来を考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

## 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。

先週の放送では、「本の読み方・新聞の読み方を考える」ということでお話をさせていただきました。本も新聞も同じものを2～3回読むと、内容がよくわかってよい。本の場合は、読みながら気に入った箇所に線を引いておき、読んだあとにそれを一行でもよいから「書き抜き読書ノート」に書き抜いておく。新聞も興味を引いたところをたとえ一行でもよいので書き抜いたり、切り抜いて「スクラップブック」に貼ったりしておく、よい記録になる。そして、あとで何度も読み返すと、それを自分のものにすることができる。これはすばらしいことだ。このようなお話をいたしました。

## 2. 自由民主党総裁選挙を前にして - 世界や日本、地域、一人ひとりの国民の将来を考える -

(1)ところで、先週は安倍首相が突然辞意を表明しました。それを受けて、自由民主党の総裁を選ぶ選挙、つまり日本の総理大臣を選ぶ前提となる選挙が、明日行われます。選挙に向けて、麻生さんと福田さんの二人が毎日熱心に議論なさっています。これは、非常に勉強になります。このCRT ラジオ栃木放送を聴いていただいたり、新聞を読んでいただいたり、テレビを見ていただいたり、そろそろ雑誌にも載り始めましたのでそれを読んでいただいて、二人の首相候補の方々がどのようなことを述べているのか、どのような論点で議論しているのかを知っていただきたいと思います。この自由民主党の総裁を選ぶ選挙は、そこで選ばれた方が、日本国の内閣総理大臣に指名される確率が極めて高い選挙だからです。日本の政治はこれからどうなるのかについてとてもよい勉強ができますので、自由民主党の党員の方たちだけでなく、放送をお聴きの皆さん、小学生、中学生、高校生、大学生の皆さんも関心を持ってラジオやテレビを視聴し、新聞をじっくり読んでいただきたいと思います。また、お子さんやお孫さんにも、この自由民主党の総裁選挙は、日本の政治のリーダーである内閣総理大臣を決めるのと同様の価値のあるものであるから、二人の議論をよく聞いて、これからの日本がどうなるのかを一緒に考えることが大事であるということをお伝え下さい。

(2)今回の選挙には、いろいろな論点があります。例えば、テロ特措法をどうするか、これは一番の論点だと思います。そのほかにも、構造改革の問題があります。日本の国のしくみをどんどん

変えていかないと、国や地方の借金がいつになってもなくならない。どんどん増えるだけです。この、国や地方の借金は税収の何倍もあり、一般の会社であれば、破綻・倒産の危険に瀕している状況にあります。この国や地方の借金はなかなか減りません。どんどん増え続けてさえいます。それにもかかわらず、国や地方の財政改革は進んでいません。なぜこのようになってしまったのか、この原因を根本のところからいろいろな観点で議論する必要があります。

例えば、国家公務員制度や地方公務員制度はこれでよいのか。学校の先生のしくみはこれでよいのか。民間の方よりも多くの収入を得ている国家公務員・地方公務員・独立行政法人の職員もたくさんいて、税金によって給与が支払われているのですが、その仕事の仕方はこれでよいのか。ずいぶんと批判があります。

国家公務員制度や地方公務員制度をどのように変えるか、約 100 ある独立行政法人をどのように変えるかを議論することが必要です。なぜなら、この改革が全くストップすると、大変なことになるからです。

(3) また、教育を含めて地方分権をどのように進めるか。規制をどのように改革するか。これらに基づく小さな政府づくり、小さな自治体づくりをどう具体化するか。これらの取り組みは、日本の国家財政や地方財政を破綻の淵から再生させて、負の遺産を子供たちに残さないために必要不可欠です。これをお二人の方がどのように進めるのか。格差という問題もありますが、その是正を考えながら、痛みを伴わないやり方でどのように小さな政府を作っていくのか。それを二人がどのようにやろうとしているのか。皆様には、これらについても、もっともっと関心を持っていただきたいと思います。

(4) また、教育の現状を破綻の淵からよみがえらせる教育再生も大事です。教育再生会議を安倍さんは熱心にやられていましたが、次の総理大臣も続行するのでしょうか。これでストップしてしまうと、教育再生は進みませんので、これをどうするのが大問題です。

(5) サービス産業は、一般的に、製造業に比べると非常に生産性が低いため、それに従事している方のお給料はなかなか上がりません。生活レベルも上がりません。ですから、製造業の生産性の高さをどのようにしてサービス産業の生産性の向上に応用するか、これも大事な問題です。

(6) 地域の格差もあります。この解消には、各地域が競争し合って、国際競争力を持った集合体を作らなければなりません。地域クラスター(集積)という考えを取り入れ、国際競争力のある地域の集まりを作って、自分たちの力でその格差をどんどん無くしていかなければなりません。それをどのように進めるかについて、安倍さんはある程度示していましたが、そのあとを継ぐ福田さん、あるいは麻生さんはどのように考えているのかを知ることも大事です。

(7) 大学改革の問題もあります。高校を卒業した方のおよそ 80 %以上の方が大学をはじめとする高等教育機関に進学し、予備校を入れると 85 %ぐらいの方が何らかの形で勉強しているといわ

れています。これをどのように社会に役立つものにするのか。これを大学改革と呼んでいますが、積み残したたくさんの課題をどう解決するのも大きな問題です。

(8)このほかにも、農業や林業をどうするのか、少子化をどうするのか、医療をどうするのか、年金をどうするのかなど、いろいろな問題が山積みしています。すべて、抜本的な改革が求められています。これを安倍政権後どのように進めるかが大議論されています。

### 3. おわりに

以上のような、世界や日本、地域、一人ひとりの日本国民にとって重要な根本的な問題についての議論をよく見たり、聴いたりしていただいて、次の日本国の首相に何を託したらよいのかをよく考えていただければと思います。お子さんと一緒に新聞をよく読み、テレビやラジオのニュースを熱心に視聴して、これらの問題についてよく考え、大人が熱心に議論することはとてもよい家庭教育になります。ぜひ、家庭教育の一環としてやっていただきたいと思います。

- 2008年11月6日加筆 -